

区への要望や本調査に対する感想などを記入してもらい、その意見、要望を整理し、分類を行った。

1 身体障害者

障害者福祉施策、サービスの内容について・・・114件

- 親が亡くなった後の子どもが心配。
- 東京都無料乗車券と文京区福祉タクシー利用券を交付してもらいたい。
- ヘルパーさんの質を高めてもらいたい。
- 日常生活用具の見直し、家事援助とは別に事務援助をして欲しい。
- 区発行のタクシー券の額の拡大を検討して欲しい。
- 身体障害者手帳の写真の記載を廃止して頂きたい。
- 交通機関の整備を望む。
- 劇場、レストラン、駅、公共施設等のバリアフリー化を推進して欲しい。
- 支援費制度の対象に子どもの通学移動介護も入れて欲しい。
- 現状の制度で充分生活していけると思う。
- 文京区の福祉行政に感謝している。
- 社会福祉制度が年々縮小されている。経済的な不安を取り除いて欲しい。
- 現在の支援費制度ではヘルパー2級の資格がないと介護人になれないが、一人一人障害が違うのでヘルパーの資格ではなく、自分の責任で選んだ人を介護人にさせて欲しい。
- 全て福祉制度に頼るのではなく、予算には限界があるということをPRし、理解を得ることをさらに進めることも必要。
- 重度の身体障害者をショートステイで頂かってもらえたら有り難い。
- 障害と認知症がある者を病院が受け入れてくれるかどうか非常に不安がある。
- 一般企業に就労出来るようなサポートや支援をして欲しい。
- 身障者採用の企業への補助金制度も健常者へのPRとなる。
- 障害者がどんどん戸外に出て社会で活躍する事も含めて普通の日常生活の中に参加できればよい。
- 福祉活動として、コンサート等の企画を是非継続して欲しい。
- 日帰りレクリエーションをいつも楽しみにしている。
- 高齢者や障害者が参加出来るカルチャー教室があると良いと思う。
- 障害者の現状に合わせた柔軟な対応や制度運用を要望する。
- 障害者に対して防犯、防災の安全対策の徹底を望む。
- 他の市町村が行っている不動産を担保に介護費用の融資制度を導入して欲しい。
- 団塊の世代が定年をむかえ、社会に自分の持っている能力、技術を奉仕したいという人々が沢山いる。この人たちと障害者が手を取り合って、何かしたい。
- 視覚障害者が気軽に外出出来るように付き添い人のサービスの充実を図って欲しい。
- 福祉手当は月毎の支給にして欲しい。

障害者施設について・・・19件

- 区の方で、障害者用住居を増築して欲しい。
- バリアフリーに配慮した区営駐車場の開設を望む。
- ショートステイを利用したいと思っても近くに空きがない為入れない。
- 障害者の災害時避難場所を増やして欲しい。
- 福祉センターは老朽化が進み、使用しにくい状況なので改善して欲しい。
- リハビリ施設の充実した病院を作って欲しい。
- 毎回抽選にはずれ障害者住宅に入居できないので、落選回数等の考慮が欲しい。

情報提供・相談について・・・26件

- 介護施設での身体的状況、心のケアについてもっと良く知りたい。
- 総合高齢者ケア相談が今後、高齢社会（少子）を迎えて大切と考える。
- 職員もデスクだけではなく、個々の家庭に行き、現状を目で見て回ったらどうか。
- 土曜日に相談や手続等を出来るようにして欲しい。
- 障害者福祉行政と介護保険サービス行政の線引きの内容について理解出来ていないのでとまどっている。
- 介護人が高齢化し、肉体的、精神的にストレスがたまり、よきアドバイス等お願いしたい。
- 情報提供は文字ではなく、視覚障害者に配慮したテープが望ましい。
- 障害の種類、程度に合わせた情報提供を望む。
- 利用できるサービスについての情報が少ない。
- 身障者手帳をもっているが、自分が何を利用できるか不明のため手引きなどを郵送していただきたい。
- もっと障害者がサービスを利用しやすいような総合的にコーディネート出来る窓口が必要ではないか。
- 区の窓口の方々の対応もとても親切で気持ちよく利用させてもらっている。
- 障害者への理解、人権尊重を訴える教育、啓発の充実を求める。

本調査について・・・15件

- もっと簡単な質問をお願いしたい。
- 質問の内容がわかりにくいところがあった。
- アンケート対象者の人数を書いて欲しかった。
- アンケートの対象の巾が広いためか、答えにくい内容が多い。
- このアンケートが有意義に生かされる様に願っている。
- 今回の調査は視覚障害者には全般的にあてはまることがない。項目について一考願いたく思う。
- 障害者が子育てをしている場合の選択肢が1つもなく不安を感じる。
- このアンケートに答えながら現在の制度について知ることが多かった。
- アンケートの回答がパソコンでできればいいと思う。

2 知的障害者

障害者福祉施策、サービスの内容、税金等について・・・50件

- 支援費制度を利用しているが時間が足りない。
- 知的障害に限らず、見守りという項目の支援が必要である。
- 障害者の療育に必要な費用は税控除さえならない。
- 財政難という理由で、援助が廃止されている。
- 医療的ケアを伴う介護のサービスを充実して欲しい。
- 収入の高低で差をつけるのはやめ、一律にサービスを提供して欲しいと思う。
- 福祉タクシー券が唯一受けていた区からの助成なのに、今年からもらえず困っている。
- 学童期の福祉がとても欠けているように思います。また、児童課と福祉課の連携を希望します。
- 将来は区でも、短期保護の枠を広げて、通園センターの時間も30分でも1時間でも延ばして親の負担を減らして欲しい。
- 区でも職業センターのような企業と本人のパイプ役サポート的な役割をする係を作って欲しい。
- 医療の必要な人に支援費は使えない。
- 児童デイサービス事業を小学生まで拡張してもらうことを強く求めたい。
- コーディネーター的な役割を担ってくださる方を、是非区で設置してもらいたいです。
- 今年度から障害者が年金から出す金額が多すぎると思います。
- 支援費制度を利用したいが、利用する上での制約が多すぎて利用できないことが多い。
- 障害を持っている人は重度も軽度も医療費は大変だと思う。
- 生まれた時から死ぬまで一貫した支援の中でサービスが受けられることを望みます。

障害者施設等について・・・41件

- 区の施設でもっと知的障害者にも、仕事の門戸を広げていただけたらと思います。
- 介護の者が病気になった場合本人が他の人の介護を受け入れられるよう、施設などがあれば安心です。
- 親の介護を受けられなくなった時のために、区内の重度重複障害者の入所施設を作って頂きたい。
- 障害を持つ中学生のための学童保育のような場所が出来たらありがたいです。
- 自立のためにも、グループホームをもっと増やす、利用しやすくすることに力を入れて頂きたいと思います。
- 区内では知的障害者入所更正施設がありません。新設してください。
- 教育期間中は、総合的なバックアップ施設がありません。是非、福祉センター、教育センターの総合施設をお願いします。
- 短期保護など利用するのに、早めに日時を予約しないと預かってもらえないため、緊急の時の対応などの整備をして欲しい。
- 知的障害があっても文京区内で暮らしていけるように体験型のグループホームをぜひ作ってください。

日常生活、態度、経済的なことについて・・・30件

- 自分だけの年金で生活が出来るくらいもらいたい。
- 放課後の過ごし方に困っています。
- 仕事に行く交通手段はわかっていますが、途中で電車がストップした場合、迷子になりやっと捜すと言う事がありました。
- サービス向上の期待はあるが、負担を軽くして欲しい。
- 送迎のため、やむなく有料ボランティアを利用していますが、経済的にもかなり負担。
- 通院用に使っていたタクシー券の支給が打ち切れ、医療費もかなり高額なので経済的負担が大きい。
- 放課後の行き場がなく長期の休みなどには家でボーと1日中テレビを見るか、窓の外を見ているかです。

将来の生活などで不安なことについて・・・32件

- 区民の方は障害のある人に優しく、子どもは文京区で生活していきたいと願っています。
- 社会とはいろんな方がいてあたりまえだと思います。障害者もその中の一員としてとらえられる社会が理想です。
- いろいろな就職先の門を広げてもらいたいです。
- 将来の生活ですが、文京区では在宅になってしまう人も多く、福祉の面で他区に比べ、大変遅れていると聞き心配しています。
- 介護する者が高齢の為、これから先行が心配。
- 知的障害の短期宿泊時間が、1年間で150時間と定められています。倍位の時間使用出来ると便利に感じます。
- 公立幼・小・中・高・大学の学生時代に、友人として障害者と関われば、社会人となった時、自然に職場に受け入れられる。
- 介護者が先に死別した場合、残された障害者の生活を考えると不安。
- 縦割りの行政仕事のまんまで、利用者の意識に立った情報の共有が役所内でできていない。
- 親がいなくなっても一人で自立でき生きていける世の中を作っただけのように希望しております。
- 福祉関係の活動の中で、分かり合える友人や支援者が欲しいと思います。
- 親が高齢になってきたため体力もなく精神的にも負担が高いです。
- 支援費制度が成立して2年間子どもは移動介護のサービスを使ってヘルパーさんと沢山の楽しい経験やうまくいかない経験をいくつも重ねてきました。

情報提供・相談、専門家の育成について・・・17件

- 災害が発生したとき家に居た方が良いのか、歩くのが不自由で避難場所まで行くのに心配。
- 障害児かどうかグレーゾーンの子を持つ親としては、相談員の充実ということ強く望みます。

- 本人にとっても親にとっても相談する場が少ないし、障害に関して専門知識を持つカウンセラーも少ないです。
- 日本国内の障害者（児）教育の実情が欧米に比べてはるかに遅れているということを知り、専門家の育成に力を注いでもらえることを心より望みます。
- 支援費制度について詳しく知りたいと思います。
- 相談窓口を 1 ヶ所で相談できて、必要に応じて他の機関を紹介・仲介してくれるとありがたいです。
- 障害者の意見をちゃんと聞いて、障害者の事を地域の人達に理解してもらい、何かあった時に助けて欲しい。
- 毎日の生活に追われ、支援費制度とか障害者の受けられるサービスの情報とかよく届いていない。
- 福祉センター等では、親にわかりやすく療育方法をアドバイスできていない。

本調査について・・・30件

- 知的障害と身体障害では全く異なるので、質問の内容、選択肢についてもっと検討していただければよりよく実態がつかめたのではないのでしょうか。
- アンケート調査も大事だとは思いますが、実際に障害を持つ人や家族や施設等の職員や病院の先生などに接している話を聞いて勉強して欲しいと思います。
- 18 歳以上の方とその家族の方の意識とまだ小学生の障害を持つ子どもの親の私とは同じアンケートで回答することはとても難しいものでした。
- 仮名をふってあっても、設問そのものへの理解が知的障害を持つ子には難しいと感じました。
- 調査を生かして利用しやすい制度・施策の拡充を望んでいます。
- 知的障害者にはこのような質問が理解できるでしょうか。
- 重度の知的障害者には、大変難しく、質問は殆ど理解できない状況で、本人が回答することは不能でした。

3 精神障害者

障害者福祉施策、サービスの内容について・・・58件

- 自立支援法による医療費 1 割負担を何とかして欲しい。
- 都営住宅など、入居する際優遇して欲しい。
- 自立支援法による就労支援を充実して欲しい。
- 自分が将来一人になった時に、どうやって暮らしていけばいいのかとても不安。
- 就労のための職業訓練などをやりやすくして欲しい。
- 就労のための技能や資格を習得するための費用の工面が大変なので仕度金や補助金の制度があれば利用したい。
- 障害年金の手続きに当って、書類が多く難しすぎる。審査期間が長すぎる。
- 公的なサービスが少ない。障害者には出来ない手続きが多い、不親切。障害者に冷たい。

- 身体障害者と比べ、精神障害者の福祉が遅れている。「駐車禁止の対象除外」、「有料道路通行料金の割引」などは、精神障害者にも必要。
- 夜間・休日の精神救急窓口の整備。カウンセリング治療への保険適用も切実な問題。
- 専門知識を持ったヘルパーさんに安心してヘルプしていただきたい。
- 精神科通院のためのタクシー券を新設して欲しい。
- 営団地下鉄（無料）・JR（半額）・飛行機（半額）を希望する。
- 障害年金が少なく生活が苦しく、母の遺族年金にたよっているが、生活状況が苦しいのが現状である。区の精神福祉手当を新設して欲しい。
- 入院は必要ではないという人は、どのサービスも利用できない。実際には、利用制限があって何も利用できない。
- ショートステイを早く実施して下さい。デイケアも一緒に利用できればいいと思う。
- 早期発見、早期治療で早期社会復帰が出来るよう体制を整えて頂きたい。安心して受診できる医療機関の紹介、社会復帰への援助、窓口をお願い致します。
- 保健センターに直接行かないと手続きできないものもあるが、体調が良くないとすぐには行けない。家族に頼むことも難しいので、在宅のまま手続きできるとうれしい。
- 一般企業での就労が難しいので、行政で何か下請企業を立ち上げて病状の安定した人たちの就労先を確保して欲しい。

障害者施設について・・・14件

- 文京区は「グループホーム」が1施設しかなくて、定員も6名（3年間で入れ替え）なので増やして欲しい。
- 若年の方々が集団で生活、及びデイサービスを受けられる施設がない。
- 公営住宅の整備、建設を進めて欲しい。
- 精神保健福祉施設の数をもっと多くして欲しい。
- 外出時、車椅子用のスロープ付通路のない所が多く、大変不便を感じている。

情報提供・相談について・・・25件

- 一般就労に向けての情報が欲しい。
- 在宅での仕事が少なくなっている所以に関する情報が欲しい。
- 具体的にどのようなサービスがあるのかわからないので、区のホームページなどにわかりやすく載せて欲しい。
- 困ったときにどこに相談すればよいのかわからない。
- 病院の情報、先生の人柄などよく分かるもの。
- いろんな施策について医師にも知っておいてもらいたい。
- 時間の都合が取れないとの事で区役所の担当の人にはなかなか会って話が出来ない。相談に乗って欲しい。
- 精神的ケア・相談・話し相手が欲しい。
- 自分で片付け等（掃除も含む）が出来ないため、ヘルパーさんの事業等の情報が欲しい。

- 一般の人に精神障害についてもっと正確なことをPRして欲しい。
- 主治医のサービス、日頃の生活のケア、相談、同じ病気の人とはどんな生活をしたりどんな関わり方をしているのか専門家の人が直接相談にのってくれたり、将来の事などの相談にのって欲しい。

本調査について・・・3件

- この実態調査は今後も続けて欲しい。
- アンケートの問1～6で個人がかなり特定されると思う。もう少し配慮して欲しい。

4 就学前障害児

障害者福祉施策、サービスの内容について・・・43件

- 普通学級の方が成長が望める児童に対しては、普通学級に所属させ、もっと普通学級での指導の充実、アシスタント（教員数）を増やすなど努力して欲しい。
- 医療機関と福祉の連携により、早期に障害の発見と適切な指導、支援が受けられるようにして欲しい。
- 教育委員会・福祉・医療の連携がまだまだ不十分。
- 幼稚園等の延長保育は障害児も利用できるようにして欲しい。
- 福祉センターの個別学習をもっと増やして欲しい。
- 区の身障学級（小・中）に通う際の送迎負担の軽減を制度化して欲しい。
- 区が行う療育が就学後に受けられないので、デイサービス事業で受けられるようにして欲しい。
- 児童一人一人にIEPを作成し、学校等で教育寮育支援ができるようにして欲しい。
- 健常児と共に学校生活が送れるような体制、身障学級と通級学級を早急を実現して欲しい。
- 子どもに最適な就学が可能になるよう福祉センター、幼稚園、区が連携して欲しい。
- 身障学級と普通級との交流を図り、学校生活で多くの事を学び、楽しく過ごせるように支援して欲しい。
- 各種サービスの充実や経済的支援。
- 高機能自閉症やアスペルガー症候群やLD（学習障害）に対応した適切な指導をお願いしたい。
- 幼・小・中・高と一貫したカリキュラムで教育をして欲しい。
- 発達障害者支援法とは名ばかりで、利用するものにとって本当の意味で役立っていない。
- 福祉センターと民間の医療機関の連帯を積極的に行って欲しい。
- 障害者に対しての支援体制をもっと積極的に、わかりやすく明示してもらいたい。
- 福祉センターの内容が充実していて、今受けているサービスには満足している。
- 兄弟姉妹や障害を持たない子どものセンターへの参加をもっと積極的にして欲しい。

障害者施設について・・・6件

- 軽度の発達障害の児童が通える施設が少ない。
- 福祉センターの設備、サービスを充実させて欲しい。
- 小学生が通える福祉センターのような施設があればよい。
- 小学校、中学校の設備をバリアフリーにしていきたい。
- 文京区子ども家庭支援センターキッズルームをもっと使いやすく改善して欲しい。

情報提供・相談について・・・9件

- 子どもにかかわるすべての人に発達障害とは？という知識をもって欲しい
- どんなにささいなことでも相談に行ける場所があったらと思う。
- 本人のみならず保護者、兄弟姉妹に対してカウンセリングするような機関が療育機関とは別に独立した形で必要だと思う。
- 障害児を持った家族の日常と、行政の認識にはかなりの温度差があるように思う。
- 福祉センターでもっと区内の幼稚園、小学校などの情報を教えて頂きたい。
- 保護者同士の意見、情報交換の場を提供して欲しい。
- 親も子どもの障害について勉強しているが、専門化によるレクチャーなどを行って欲しい。
- 区の相談窓口の担当者は、十分な知識を持ち勉強熱心で障害者の立場にたって考えられ人を配置して欲しい。

本調査について・・・3件

- 調査をしていただきとても嬉しく思う。意見を元に色々な事を考えていただきたい。
- アンケートを配布した所、家庭にはその結果や結果を元に実現したことをきちんと伝えていただきたい。

5 就学後障害児

障害者福祉施策、サービスの内容について・・・41件

- 支援費制度、ホームヘルプサービス等、必要な時に誰でも気軽に利用できるようにして欲しい。
- 林町小学校に設置された特別支援子育ての対象を中学生までにして欲しい。
- 障害も多種多様であり、障害の内容により区別されることなく利用できる仕組みや施設を望む。
- 中学生以後の学童保育事業の設置を望む。
- 福祉がどんどんなくなっていき、タクシー券迄廃止となり見放されていくような感じがする。
- 学校から各学校を回るような車を希望します。
- 容態急変等緊急時のタクシー利用に対応できる緊急手配などのシステムの確立。
- 学校への送迎に心身ともに疲れ果てている。支援費制度の移動介護に学校の送迎も認めて欲しい。

- 障害児の一時保育を保護者の意見を考慮して、充実させて欲しい。
- 同じ障害でも、個人や家族の持つ価値観や生き方で求めるものが違っている。価値の多様化に伴い各サービスを選択できる自由が欲しい。
- 子どもの成人後の自立に不安があり何らかの仕事ができる機関の増設を希望する。
- 民間の療育機関に通ってみて、着実に成長していると実感するが費用が負担である。
- 保健所、福祉センター、学校等公共機関それぞれが専門性を身につけ質の向上を図って欲しい。
- 国の援助金を増やして欲しい。
- 制度を整えることも大事で、障害を持った子どもがみんな同じ社会で生活することを基本にしてよりよいサポートをしてもらいたいが、何より一番大事なものは人の心。
- 地域の中で分けられての生活ではなく、一緒に生活を送ることができるようなサポートを望む。
- 学校教育法改正案では、特殊学級は「特別支援学級」に改称して存続とのこと。名称を変えただけでなく本来の意味での特別支援教育を充実して欲しい。
- 子どもたちのためにより良い教育環境を整えていただきたい。
- レク、スポーツ、音楽療法、学習など、就労の前段階の支援（訓練機関）等もして頂きたい。
- 小学校入学と共に、療育の場は打ち切れ、支えの場がなくなり、医療費も実費となり経済的に厳しい状況です。
- グループホームの充実、コーディネーターの充実を希望する。

学校生活について・・・27件

- ろう学校に通学していますが、手話をきちんと習得している教師も少なく生徒とコミュニケーションがとれる教師が少な過ぎる。
- きめ細かく生徒を見られる様に教師の数を増やして欲しい。
- 1クラスを少人数（25名程まで）に設定できたら、児童と先生と両方に余裕ができて良い関係が築いていけそうな気がする。
- 学校の自由選択ができるよう学区域外通学を認めてください。
- 個に応じた指導を行える教師の意識改善、質の向上を早急をお願いしたい。
- 先生、スクールカウンセラーは障害児についての知識、理解が足りない。
- 教員は、障害の知識を持った専門的に勉強した人を採用して欲しい。
- 全ての職員が一定期間、通級学級あるいは心障学級で研修を受けるような制度の改革が必要。
- 小学校だけではなく、中学校も通級学級があると良い。
- 中高生の放課後の過ごし方についてタイムケアサービスを再検討して欲しい。
- 教育センターへの年齢を20歳ぐらいまでにして欲しい。
- 「いずみ」での学習発表会はお客さんのための発表会であると思った。
- 通級学級の受け入れ人数に制限があり、希望者が入れないのは不公平ではないか。
- 養護学校に通うべき子どもが、特殊学級に入学してくることになり、本来の特殊学級としての役割を果たせず、特殊学級が養護学校化する結果を招いている。

障害者施設について・・・19件

- 学校のバリアフリー化（特にエレベータの設置）をすすめて頂きたい。
- 学区域が広いため通学が困難、区立の養護学校を作って欲しい。
- 中学生以上の障害児が、放課後や長期の休みに安全で充実した時間を過ごせる場所が無い。
- 学校の空き教室等を使って指導員に来ていただき子どもが過せるようにして欲しい。
- 普通小学校に障害が重い軽い関係なく、通える様な学校作りをして欲しい。
- 手に職をつけるような（織物や漆器づくりなど）専門学校在文京区にあればと思う。
- 小中高大の16年間くらい勉強をさせる学校（療育センター）を区内に造って欲しい。
- 林町小学校のフレンドは遊具などが充実していない。
- 藤の木、動坂で実施している短期保護事業は、夏、春休みは特に混み合いになり、希望日に取れないことがある。その他の場所なども開放するなど、受け入れを見直して頂きたい。

情報提供・相談窓口について・・・18件

- 地域の子ども達に障害児の存在を知ってもらいたい。
- 障害児に対する理解を深めてもらうためにも支援の状況などを通常学級の保護者に伝えて欲しい。障害児も健常児と同様に学ぶ権利があることを理解して欲しい。
- 信頼関係が結べる専門家との相談はあまりにも少なく、また、相談場所もよく分からない。
- 教育委員会、小学校の校長、教員、通級の教員、教育センターの相談員を含めたカンファレンスを沢山行い発達障害の子ども達を理解し教育させて欲しい。
- 発達障害者支援法について全く分かりません。支援の内容やどのようにすれば受けられるのか、もっと積極的に働きかけて欲しい。
- 統一された相談・支援センターを開設して下さい。
- 情報が入りにくい状況で、わかりやすい言葉と、わかりやすい広報をお願いしたい。
- 障害児の一時保育事業が始まったが利用状況はどうか、情報提供して欲しい。
- H17年度に福祉センター内に自立支援センターが開設されたが、その活用についてもっと情報を広めて欲しい。
- 進路情報が少ない。
- ひとつの窓口で相談出来るような、子どもにかかわる人が共通認識をもてるような場を作れる、コーディネーターになってくれる人が欲しい。

本調査について・・・3件

- アンケートをとって集計し報告書を出してそれで終わりにならないようしてください。
- 育成・教育ポリシーはどの様になっているのか。それを表してから質問をして欲しかった。